

牧 総 第 1 3 6 号  
令和 4 年 8 月 17 日

第 3 次 牧 之 原 市 総 合 計 画 に 関 す る 特 別 委 員 会  
委 員 長 太 田 佳 晴 様

牧 之 原 市 長 杉 本 基 久 雄



第 3 次 牧 之 原 市 総 合 計 画 基 本 構 想 及 び 前 期 基 本 計 画 ( 案 ) 意 見 書 に つ い て  
( 回 答 )

令 和 4 年 8 月 10 日 付 け 牧 議 第 49 号 に て 提 出 さ れ た 意 見 書 に つ い て 回 答 し ま す 。  
な お 、 個 別 の 意 見 に 対 す る 回 答 内 容 は 、 別 紙 の と お り で す 。

### 第3次牧之原市総合計画基本構想及び前期基本計画（案）意見書への回答

市議会 第3次牧之原市総合計画に関する特別委員会

#### 【基本構想】

番号	意見	回答
1	<p>1 目的</p> <p>若者の減少が大きな課題としている中で「強みを活かして、住む魅力の向上に重点を置き取り組む計画」としたいのであれば、サーフスタジアム周辺をリゾート地として環境を整えることで、幅広い年齢層にも魅力を感じてもらえることから、ターゲットを若者に限定するのではなく広く考えるべき。</p>	<p>目的では、計画の背景として、若者の減少がまちの持続性に向けた大きな課題であることを述べているもので、サーフスタジアム周辺まちづくりにおいて手段として幅広い年齢層に魅力を感じてもらうことなど、個別施策におけるターゲットを限定するのではなく、全体の考え方として「若者の減少」を課題として捉えるものです。</p> <p>御意見は個別施策の中で反映します。</p>
2	<p>4 まちづくりの理念（将来都市像）</p> <p>シティプロモーションと連動しているために、文章の内容は変える必要はないが、「夢に乗る」まちである躍動感を感じさせる印象的なデザインの紙面としたい。</p>	<p>冊子作成の際にデザインに配慮します。</p>
3	<p>6 実現に向けた基本的な考え方・姿勢</p> <p>(1) まちづくりの基本的な考え方</p> <p>①安心安全な暮らしの確保</p> <p>原子力発電の危険性と安全性について何らかの記述が必要と考える。</p> <p>沿岸部についての安心安全の確保については、地震津波災害の側面から示されているが、昨年の竜巻被害に見られるように、いつでもこの地域で大きな自然災害が起こるか予想困難な時代となっている。よって、山間部を含めた市内全域の安心安全に配慮した文章にすべき。</p>	<p>まちづくりの基本的な考え方の「安心安全な暮らしの確保」として、住む魅力の向上に取り組むことを意識したもので、静岡県第4次地震被害想定による浸水域が示されたことで、人口流出が進んだため、地震津波の側面が強い記載としています。</p> <p>他の各種災害への対応については、基本計画に記載し、ここでは下線部分の追加で対応します。</p> <p>・安心安全への不安は、居住地選択における大きなマイナス要素であるため、暮らしの魅力に係るプラス要素を伸ばすだけでなく、<u>地震津波などの各種災害によるマイナス要素を抑え</u>、住民の生命、健康、財産が守られ、安心感を持てる地域としていくことが重要です。</p>

	<p>8行目の「新たな選択肢の供給」について、供給は一般的には物に対して使う表現で、新たな選択肢を物に置き換えるか、供給を「提供」に変更すべき。</p>	<p>御意見のとおり修正します。</p>
<p>4</p>	<p>②公民連携・市民協働 DX導入を積極的に進めることを明記することが必要と考える。</p> <p>市民協働をうたっているが、具体的な人材育成（新たな人材発掘）に関する言葉が見当たらない。</p> <p>「取組を進めるカギは、プレイヤーとなる人材です。」の中に、「対話の文化を継承していく人材育成を継続的に行っていく」のような文章を入れるべきと考える。</p> <p>「稼ぐノウハウに長けた」の文章について、結果として稼いでもらえばよいが、民間活力導入の本質は、魅力的な新しい発想を取り入れていくことにあるはずなので、「経営能力に長けた」に変えるべき。</p> <p>3番目の・は、1番目の・に続く内容のように感じるので、2番、3番の・を入れ替えた方が全体の文章がまとまるのではないか。</p> <p>「協働のまちづくりで培われた市民力があるため」の文章は、「…培われた市民力があり」の方が適切と考える。</p>	<p>基本構想では、重点方針（4）課題に効果的に対応できる行政運営を行うに、「民間との連携や、デジタル化などの新技術の導入、施設やサービスの質の向上と量の縮減による最適化などを進めます。」としており、基本計画の重点戦略プロジェクト 戦略4 DXの推進に具体的な方向性を記載しています。</p> <p>具体的な内容は基本計画に位置付けます。政策6生活環境 施策1住民自治の支援に下線部分を追加します。</p> <p>「地域の住民自らが地域の課題を解決する能力を高めるため、まちづくりへの関心を高める学びの場の創出や、市民活動団体への支援、対話と協働のまちづくりを担う人材育成などに取り組みます。」</p> <p><u>人を呼び込むことや稼ぐノウハウなどの高い経営能力を持つ民間の存在が不可欠です。</u>に改めます。</p> <p>御意見のとおり修正します。</p> <p>御意見のとおり修正します。</p>

5	<p>④SDGsの推進・循環型の社会経済への転換</p> <p>ゼロカーボンシティの全体的な取り組みと、年次具体的目標数値への言及がない。</p>	<p>下線部分を追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国では、2050年にCO2の実質排出量をゼロとするカーボンニュートラルに取り組んでおり、<u>2030年には46%の削減を目指しております。</u></li> <li>・<u>当構想の終期である2030年における目標達成に向け、計画的な取組を進めます。</u></li> </ul>
6	<p>(2) 土地・空間利用の基本的な考え方</p> <p>①既存市街地と高台をつなぐ都市構造の構築</p> <p>「富士山型ネットワーク構造」は、必ず実現させるという決意を示すために、「…転換を進めます。」の表現を、「強く推し進める。」などの表現とする必要がある。</p>	<p>下線部分を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7割の市民が居住する「相良」、「静波・細江」の既存市街地と、東名高速道路や空港へのアクセスに優れ、<u>地震や津波による災害に強い「高台」の各エリアにおける魅力ある拠点形成と、拠点間の連携で相乗効果を図る「富士山型ネットワーク構造」によるまちづくりを推進します。</u></li> </ul>
7	<p>②各地域特性に応じた土地利用の促進</p> <p>1行目「3つの特色を考慮するとともに」、3行目「利用者ニーズなどを考慮」とあるが、具体的に何をどのように考慮するのか、疑問を感じてしまう。「考慮」という曖昧な表現から、「活かす」等に変更する。</p>	<p>下線部分を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住宅」「観光・交流」「ものづくり」の3つの特色を考慮するとともに、各エリアにおける<u>公共、民間の拠点施設、歴史文化、地形や景観、交通インフラを活かし、利用者ニーズに合った土地利用、魅力あるまちづくりを進めます。</u></li> </ul>
8	<p>7 重点方針</p> <p>(1) 牧之原市らしい暮らしや遊びのローカルスタイルを創出する</p> <p>「交通利便性と安全性に優れた高台地域と、…」の文章は、他の地域の安全性に疑問を感じさせる表現なので、「安全性」という言葉を削除するか他の表現を用いるべき。</p>	<p>下線部分を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>交通利便性に優れ、地震や津波災害に強い高台地域と、観光資源や農水産物などの地域資源が豊富な沿岸部地域の特色を生かした魅力ある拠点を形成します。</u></li> </ul>
9	<p>(3) 若者世代が住みやすい暮らしを創出する</p> <p>牧之原市の最大の課題は「若者の減少」と捉えているのであれば、より強い姿勢を示すべきと考える。</p>	<p>具体策を実施計画に盛り込むことで、推進に向けた強い姿勢を示します。</p>

10	<p>(全体に対する意見)</p> <p>農業に関する記載が見えないが、「まちづくりの基本的考え方」又は「土地・空間利用の基本的な考え方」の中に入れ込むべき。また、市の基幹産業であるお茶については、当市における今後の位置づけや考え方を明確に示す必要がある。</p> <p>今後、さらなる高齢化社会を迎えるにあたり、特に高齢者福祉、また福祉全般に関する考え方が十分に示されていない。</p> <p>市民、また職員が共有しやすい総合計画とし、そして何を目標として、どのようなことを実施するのかを明確に示すべきものとする。</p> <p>目的で若者の減少に関する記述を追加しているので、次世代を担っていく若者が魅力を感じる基本構想とすべき。</p> <p>文字の字体だけでなくイラスト等も効果的に使うことで、市民に伝わりやすい構成とする。</p>	<p>個別施策の方向性は、基本計画に位置付けています。</p> <p>農業については、重点方針の「(2)地球環境にやさしく、持続可能な循環型産業を創出する」の文章を下線のとおり修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>国内有数の茶産地である農業や、自動車産業を中心として工場や研究施設が集積する当市のものづくりを、脱炭素の促進などの社会経済情勢や、消費者や取引先などのニーズの変化などに合わせて、転換、発展することを促進し、次世代に向けて持続性のあるものにしていきます。</u></li> </ul> <p>基本計画の政策2健康福祉の中で示しています。</p> <p>基本計画、実施計画で具体的な取組を示すことで、総合計画全体として、若者が魅力を感じる計画としていきます。</p> <p>冊子作成の際にデザインに配慮します。</p>
----	--	--

【前期基本計画】

番号	政策	施策	御意見・御質問	回答（市の考え方）
1	1 防災	1 危機管理機能の充実	<p>(1) 自助、共助の体制の強化 「防災は一人ひとりが主人公」総合計画（案）の中で、「一人一人」と「一人ひとり」両方の表記が使われているが意味はあるのか、出来れば統一した方がよい。</p> <p>局地的大雨等災害の激甚化について、現状と課題では記述されているが、方向性の中には災害時の伝達についての記述のみで、具体的な対策について述べられていない。 「海岸防潮堤の整備」と同じように「内陸部の災害」対策についても、具体的に示すべきと考える。</p>	<p>「一人ひとり」で統一します。</p> <p>(2)に下線部分を追加します。 ・<u>国が示す風水害や土砂災害警戒レベルに合わせて、早めの避難所開設などの対応を行います。</u> なお、河川の維持管理や浸水対策は、政策5都市基盤 施策2道路や河川の保全と整備 (3)河川の環境保全と浸水対策に方向性を記載しています。</p>
2	1 防災	2 消防体制の充実	<p>災害対応時に備えた、消防団員の安全確保に関する指導・教育について示すべきと考える。</p>	<p>下線を追加します。 ・<u>消防団員に対する「消防団遵守事項及び基礎訓練」の指導・教育を通じて、活動時の取り決めに徹底することで、消防団員の災害対応における安全を確保します。</u></p>
3	2 健康福祉	6 地域医療の充実	<p>榛原総合病院と開業医の連携について、かつては榛原総合病院の医師が地域で開業して地域医療が機能してきたことを考えると、榛原総合病院と開業医との信頼関係の構築は地域医療にとってたいへん重要であり、「連絡調整体制を確保する」から、もう少し踏み込んだ「連携」についての考え方を示すべきと考える。</p>	<p>下線のとおり修正します。 ・<u>行政と医師会、榛原総合病院による協議体を通じた病診連携により、切れ目ない医療体制を確保するとともに、新興感染症などに迅速に対応します。</u></p>

4	3 教育文化	1 次代を切り 拓く力の育成	<p>現状と課題 10 行目の、「学校再編を進めるに当り、…」に「当たり」は漢字で表記すると、「当り」で間違っていないが、一般的には「あたり」で表記するようである。</p> <p>「当り」、「当たり」、「あたり」が使われているが、表記の統一が必要。</p>	「当たり」で統一します。
5	4 産業経済	1 農業・水産業の振興	<p>方向性（1）の「JA等の関係機関」は、「JA、他民間企業等」が妥当と考える。</p> <p>今後、市の重要な取り組みである「オーガニック」という言葉を、文中に入れる必要があると考える。</p>	<p>御意見のとおり修正します。</p> <p>方向性の(3) 荒廃農地の活用がオーガニックまきのはら推進事業を意図したものです。オーガニックは実施計画で示します。(2)に下線を追加します。</p> <p>・<u>農業者が行う、健康志向などの消費者ニーズへの対応や、化学肥料・化学農薬の使用量削減などの環境に配慮した生産への転換を支援します。</u></p>
6	5 都市基盤	2 道路や 河川の保全	<p>方向性（2）市道・都市計画道路の整備</p> <p>「・すでに計画されている都市計画道路の妥当性や必要性を検証し、見直しを進めます。」を項目追加すべきと考える。</p>	御意見のとおり修正します。
7	5 都市基盤	3 人が集まる 公園・緑地	<p>方向性（2）遊具や芝生広場などの機能充実</p> <p>「・新たな遊具が充実した、雨天でも使用できる室内施設も完備した広い公園づくりを進めます。」を項目追加すべきと考える。</p>	<p>方向性(2)「重点3公園において、親子で楽しめる公園づくりを進める」中で遊具の充実などを検討します。</p> <p>屋内型の施設は、政策2 健康福祉 施策1 子育て支援の充実の方向性で、「屋内型の子育て支援施設を整備し、子育て中の親や子どもの交流等を促進します。」としています。</p>
8	5 都市基盤	4 安定した上 水道の供給	<p>現状と課題 4つ目の・「上水道を購入して…」は、「上水道を受水して…」が正しい表現と考える。</p> <p>方向性（3）「大井川広域水道企業団からの購入水量や…」は、「大井川広域水道企業団からの受水量や…」が正しい表現と考える。</p>	御意見のとおり修正します。

9	6 生活環境	1 住民自治の支援	<p>方向性（2）地区支援の推進 絆づくり事業の部分では、地域住民だけではなく市の職員も、この絆づくり事業に積極的に関わることを促す文章とした方がよい。2つ目の・「支援する」の前に「積極的に」を入れるべき。</p> <p>※政策7 市政経営 施策1 市民の期待に応える組織づくり【P28】にも関連する。</p> <p>方向性（3）まちづくりを支える人材育成 高校生は進学や就職により、市外に出ていく人が多いので、高校生だけでは表現的に非常に弱い。将来の地域の担い手を高校生に限定するのではなく、20代～30代の若者を対象にしていくべきと考え「将来の地域の担い手となる高校生を対象とした地域リーダーの育成…」を「将来の地域の担い手となる若いリーダーの育成…」にすべき。</p>	<p>絆づくり事業だけでなく、地域活動全般への市職員の参加は大切なことですので、自治基本条例や人材育成基本方針に基づき職員の地域活動への参加を促進します。</p> <p>「住民自治の支援」の施策は、地区や住民主体の活動を支援するものです。</p> <p>(3)に下線部分を追加します。</p> <p>・将来の地域の担い手となる高校生を対象とした地域リーダーの育成や、<u>若者のまちづくりへの参画の促進に取り組みます。</u></p>
10	全体	—	<p>牧之原市が、最も重要な課題として捉えている「若者の減少」について、より具体的な政策に結びつけるための内容を、さらに入れ込む必要がある。</p>	<p>実施計画の検討の中で、更に具体化していきます。</p>